

時事新報

在安東の親衛隊

一擊の下に暴徒を撲滅し安東を占領したる權佐瀧氏の中隊は頻りに地方鎮撫に従事せしが近頃其殘徒禮安地方に集合するの勢あるを以て同隊は更に是等の城を襲撃し然る後ち凱旋の途に登り歸途春川地方に迂回し趙觀顯氏の中隊と合し同地方の賊を討伐すと云ふ

ては到底都鄙の守備に充
遂に勅令を以て親衛隊第

の工兵隊を以て之に充て其餘の人員は漸次各隊に補充する事を發布し二日より體格検査に着手したり本月末迄には全く編成を終る筈なりと云ふ

○朝鮮通信
二月八日 特派員

暴徒鎮定

の氣象に富む過般來匪

ついに蝶走し車籠堵る程がならざる處あるよ
うに親衛隊一個中隊を權在派民に附し威

の該地方に向て出發せし

ある懸念に堪へきりしか親衛隊は去る二十八日夜、東に向て進撃し二里許り弱にて城の第一陣を

(三) 第四五千五百九十九號

三四十銭を端合ひ先物は七十五圓三四四半錢にて下、等賣り〇、いみ、力等買ひて随分多數の取組あり、キは七十圓四十銭より五圓ドタ九を往來し〇、いみ、タ印等の買ひにて五圓ドタ一に引けたり

賣方の役出したるにも依らず、キは七十五圓三十錢ばかり忽ち六圓三十三錢迄進みしが可なり利喰物も現はれなければ六圓一二錢に引けたり

石印の裏にて九四六七九一三才賀七十一
錢に上りて引け先物は西六美濃善謙訪庄三木福
鍛冶松の賣りにて石印八十九増精西吉吉勘之を當
ひ前日の引直より五六錢安く九圓七十三錢に寄付

卷之三